

## 土木工事における段階確認実施要領

平成23年4月1日

### 1. 段階確認の趣旨

段階確認は、阿波市が実施する工事において工事完了後に不可視となる部分等の手戻り防止のため、施工段階の確認事項（工種・細別・確認時期・確認項目）について、監督員等が立会により確認し、請負工事の適正な履行を確保するものである。

### 2. 段階確認の対象工種

- ① 段階確認は、共通仕様書(P14) 表1-1 及び別表1「段階確認一覧表」を標準とする。
- ② 監督員は設計図書に別表1「段階確認一覧表」を添付するものとする。

### 3. 段階確認の実施及び注意事項について

- ① 請負者は、工事着手にあたって「段階確認書」（様式1）を作成し、監督員に提出しなければならない。
- ② 請負者は、「段階確認書」に提出日、工事名、請負者名、主任技術者等、種別、細別、確認予定日等を記入するものとする。
- ③ 請負者は、確認予定日に変更を生じた場合は、速やかに監督員へ連絡するものとする。
- ④ 請負者は、各段階確認ごとに「確認・立会願」（様式2）を提出しなければならない。
- ⑤ 変更により工種等に追加・削除を生じた場合は、その都度、監督員へ連絡するものとする。
- ⑥ 請負者は、関係書類（出来形管理表、工事写真、品質管理表、試験成績表等を必要に応じて）を整備し、段階確認を受けるものとする。
- ⑦ 段階確認の写真管理は、監督員の確認状況並びに、該当項目の完了が判断できる写真とする。また、写真には黒板を入れるものとし、工種、細別、確認日、確認項目、確認者を記入するものとする。
- ⑧ 監督員は、段階確認後、「段階確認書」に確認日及び氏名を記入するものとする。
- ⑨ 主任監督員は、全ての段階確認後、「段階確認書」記名・押印するものとする。
- ⑩ 段階確認において、規格値を満たさない場合は、請負者は監督員等からの指示がでるまで、次工程に着手することができない。
- ⑪ 段階確認において工場立会での確認を実施する場合は、監督員と請負者との協議により決定し実施することとする。

別表1 段階確認一覧表

種 別	細 別	施 工 時 期	確 認 項 目	確 認 頻 度	チエック
準備工	丁張(土工、構造物等)	設置完了時	丁張確認高さ・位置・基準高	1回/1工事	
指定仮設工		設置完了時	使用材料、高さ、幅、長さ、深さ等	1回/1工事	
道路土工	掘削・床掘工	土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		掘削・床掘完了時	基準高、幅、延長	1回/100m	
	路床盛土工	プルーフローリング実施時	プルーフローリング実施状況	1回/100m	
	安定処理工	処理完了時	施行状況	1回/100m	
擁壁工	擁壁工 (無筋コンクリート)	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤	1回/100m	
		型枠組立完了時	幅、高さ、延長	1回/1工事	
	擁壁工 (鉄筋コンクリート)	土(岩)質の変化時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤	1回/1構造物	
		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	1回/1構造物	
重要構造物	高さ5m以上の鉄筋コンクリート擁壁(ただし、プレキャスト製品は除く。)、内空断面積が25㎡以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工(ただし、PCは除く。)、トンネル及び高さ3m以上の堰・水門・樋門とする。	土(岩)質の変化した時	土(岩)質、変化位置	1回/土(岩)質の変化毎	
		床掘完了時	支持地盤(直接基礎)	1回/1構造物	
		鉄筋組立て完了時	使用材料、設計図書との対比	1回/1構造物	
		コンクリート打設時	打設状況	1回/1構造物	
		埋戻し前	設計図書との対比(不可視部分の出来形)	1回/1工事	
もたれ擁壁工 (背面型枠が不要な場合)		床掘完了時	支持地盤(直接基礎)	1回/1構造物	
		型枠組立完了時	幅、高さ、延長	1回/1工事	
		コンクリート打継目毎打設完了	基準高、高さ、幅、厚さ	1回/1工事	
アンカー工		削孔完了時	削孔長、削孔角	5本に1本の割合以上	
		アンカー体挿入時	使用材料の規格、寸法等	5本に1本の割合以上	
		緊張定着時	適正試験、確認試験	5本に1本の割合以上	
管(函)渠工	ボックスカルバート	床掘完了時	地盤支持力、基準高	1回/1工事	
		布設完了時	使用材料の規格、基準高、延長	1回/1工事	
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料、設計図書との対比	1回/1構造物	
		コンクリート打設時	打設状況	1回/1構造物	
法面工	ネット張工 厚層基材吹付工 モルタル吹付 法枠工	整形及び清掃完了時	施工状況の適否	1回/1工事 又は1回/1000m <sup>2</sup>	
		ネット張り完了時	使用材料の規格、数量、重ね幅 ラスの位置、アンカー鉄筋・ 検測ピンの径・長さ及び本数		
		ラス張り完了時材料配合時			
		ラス張り完了時、鉄筋組立完了時			
矢板工	鋼矢板、鋼管矢板	打ち込み時	使用材料の規格、寸法等、溶接部の適否	1回/1工事	
		打ち込み完了時	基準高、変位置	1回/1工事	
舗装工	路盤工	プルーフローリング実施時	プルーフローリング実施状況	1回/1工事	
		密度試験		500m <sup>2</sup> 以上 1箇所/1000m <sup>2</sup>	
舗装工	表層工	舗設時	舗設温度、舗設状況	500m <sup>2</sup> 以上 1回/1000m <sup>2</sup>	
		現場塗装	ケレン完了後各層、各塗り後	施工状況の適否、 塗膜厚、使用材料及び使用量	その都度

※ 表中の「確認の頻度」は、目安であり実施に当たっては、工事内容及び施工状況等を勘案のうえ設定することとする。  
本表に記載のない工種は、工事内容及び施工状況等を勘案のうえ適宜実施することとする。



# 段階確認書

**記入例**

作成日： ○ 年 ○ 月 ○ 日

請負者： (株) ○○○建設

工事名： 市道○○線改良工事

主任技術者等： ○ △ □ ☆ 印

番号	種別	細別	確認予定日	確認項目			現地書面	確認実施日	確認実施者
				1	2	3			
1	準備工	丁張	設置完了時 ○年○月○日	基準高	位置		現地	○年○月○日	徳島 太郎
2	擁壁工	擁壁工(無筋)	床堀完了時 ○年○月○日	基準高、幅、 延長	支持地盤		現地	○年○月○日	徳島 太郎
3	"	"	型枠組立完了時 ○年○月○日	幅、高さ			書面	○年○月○日	徳島 太郎
4	床版工		鉄筋組立完了時 ○年○月○日	8/5 確認済 使用材料	設計図書との 対比 8/11 再確認 OK		現地	○年○月○日	阿波 次郎
5	舗装工	路盤工	プルフロ実施時 ○年○月○日	プルフロリン グ実施状況			現地	○年○月○日	徳島 太郎
6	"	表層工	舗設時 ○年○月○日	舗設温度	実施状況		現地	○年○月○日	徳島 太郎

確認項目毎に実施日が違っ  
た場合は項目毎に記入する。

段階確認の結果が良好でな  
かった場合は、当該項目の  
欄外に「再確認」と記入する  
など、経緯がわかるようにし  
ておく。

確認後、  
記名する。

上記種別について、段階確認を実施しました。

○ 年 ○ 月 ○ 日

最後の段階確認が終了  
後に記名・押印する。

主任監督員： 阿波 次郎 印

## 確認 ・ 立会 願

課 長	主 任 監 督 員	現 場 監 督 員

現 場 代 理 人	主 任 (監 理) 技 術 者

### 確 認 ・ 立 会 事 項

\_\_\_\_\_ 年 月 日

工事名 : \_\_\_\_\_

次の 確認 ・ 立会 を願いたい。

記

工 種	
場 所	
内 容	
希 望 日 時	年 月 日 午前 午後 時

段階確認記録表

実 施 日 時	年 月 日	午前 午後		時
確 認 者				
確 認 方 法	現地確認 ・ 書面確認			
記 事				

## 確認・立会 願

課 長	主 任 監 督 員	現 場 監 督 員

・紙での提出の場  
合は押印。  
・メールでの提出  
の場合は氏名を  
記入して下さい。

現場 代理人	主任 (監理) 技術者

## 確認・立会事項

〇年〇月〇日

工事名： 市道〇〇線改良工事

次の ~~確認~~ ・ 立会 を願いたい。

記

工 種	床版工		
場 所	NO. 5付近		
内 容	配筋検査		
希望日時	〇年〇月〇日	午前 <del>午後</del>	10 時

段階確認記録表

実施日時	年 月 日	午前 午後		時
確認者	この欄は、監督員 が記入します。			
確認方法				
記事				

